

## リーディングDXスクール事業【実践事例】

広島市立牛田小学校（広島県）

## 【取組内容③】 端末の日常的な持ち帰りに向けた準備・環境づくり②

## 》》》 段階的な持ち帰りの実践

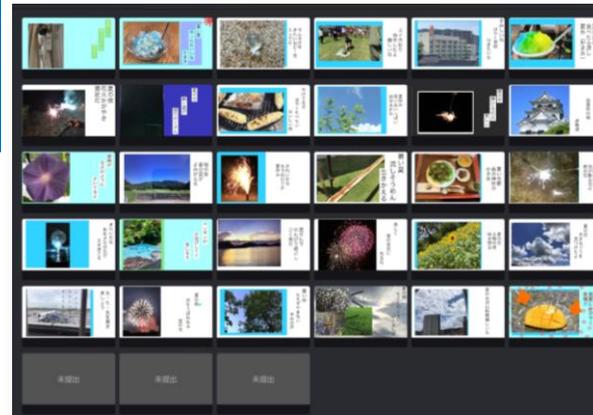
## 夏休み全学年で統一の家庭学習「夏休み★思い出フォトコンテスト」

（学年の発達段階に合わせて）

6・7月 週末課題で持ち帰り

8月 長期休み全学年持ち帰り

9月以降 日常的な持ち帰りの実施



長期休みに端末活用を推進するため、全学年「夏の思い出」をテーマに写真と俳句をタブレット端末で提出。休み明けにGoogleフォームで投票を行い、学年1位を決めて、校内に掲示した。

## 》》》 端末持ち帰りによる成果と課題

## 成果

- ・欠席や学級閉鎖などの際に、時間割や課題の配信に活用したことで、業務の効率化を図ることができた。
- ・授業内容の延長として家庭学習を捉えることができるようになった。
- ・児童が授業で疑問に思ったことを積極的に調べたり、興味関心に合わせてやりたいと思ったことに取り組んだりすることができた。

## 課題

- ・持ち帰りの同意をしない家庭への別課題の準備。
- ・端末を持ち帰ることにより、児童の荷物が増える。
- ・端末を家庭学習の目的以外で使用する児童がいる。
- ・端末を忘れる、充電をし忘れる児童がいる。

○全家庭へ持ち帰りを推奨する

○家庭学習事例の積み上げを行い、学年の事例を共有する

○家庭でのタブレット端末使用のルールづくり、周知を行っていく